

図30-1 「詳細法」による計算結果と細島観測点で得られた観測記録の比較（加速度波形、及び減衰定数5%の擬似速度応答スペクトル、NS成分、ケース1における震源断層モデルの違いによる比較結果を含む。ただし、絶対時刻は合わせていない。）  
 （観測波形では基線のずれが認められ、また、擬似速度応答スペクトルでも、周期3秒程度以上でノイズ等の影響が認められることから、この帯域については、地動が正確に記録されていない可能性があり、信頼性は低いと考えられる。）

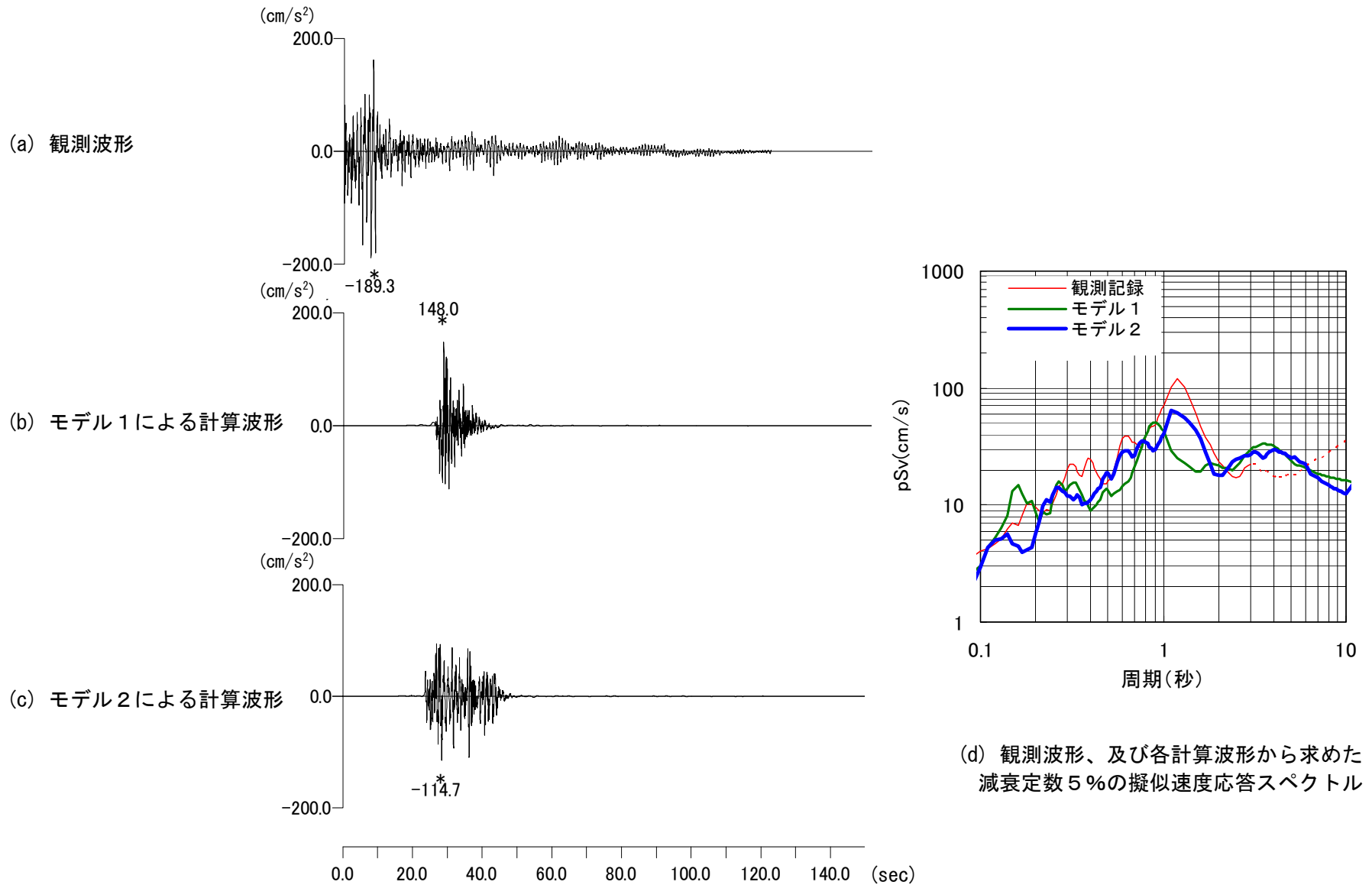


図30-2 「詳細法」による計算結果と細島観測点で得られた観測記録の比較（加速度波形、及び減衰定数5%の擬似速度応答スペクトル、EW成分、ケース1における震源断層モデルの違いによる比較結果を含む。ただし、絶対時刻は合わせていない。）  
 （観測波形では基線のずれが認められ、また、擬似速度応答スペクトルでも、周期3秒程度以上でノイズ等の影響が認められることから、この帯域については、地動が正確に記録されていない可能性があり、信頼性は低いと考えられる。）